カリキュラム

D. データ活用	表計算ソフトを活用した効果的なデータの可視化
表計算ソフト活用	

コースのねらい	表計算ソフトを活用し、各種報告書やプレゼンテーション資料等にデータを効果的に可視化する方法を習得する。

講義内容		「基本項目」	「主な内容」	訓練時間（H）
	1	データの可視化	（1）データの表現方法（グラフ、チャート等） データの可視化の目的とメリット データの可視化を行う手法として、グラフやチャートを活用する。 （2）グラフの作成 グラフを使ったデータの可視化 棒グラフ、折れ線グラフ、レーダーチャート、円グラフなど （3）効果的なグラフの見せ方 グラフ作成のポイントとして、効果的な表現方法を学ぶ。 重要度の高いデータを効果的に見せる方法を学ぶ。	2.0
	2	グラフの効果的な活用	（1）複合グラフの作成 縦棒と折れ線の複合グラフを作成する。 第2軸を使った複合グラフを作成する。 （2）補助グラフ付き円グラフの作成 補助グラフ付き円グラフを作成する。 補助円の内容や位置を変更する。	2.0
	3	データを可視化する応用機能	（1）スパークラインの作成 スパークラインの使って、数値データを可視化する。 スパークラインの種類と作成方法を学ぶ。 （2）データバー、カラースケール、アイコンセット データバー、カラースケール、アイコンセットを利用してセルを書式設定する。	2.0
			合計時間	6.0